第165号
昭和39年1月1日

昭和29年10月15日
第三種郵便物認可

毎月1日発行
定価1部3円

広報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市幸1～900
編集兼発行人
三雲郁将順

株式会社 交通東印刷
全世帯配布

小田原市の人口
12月1日現在

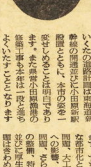
人口	134,853人		
	男	66,969人	
	女	67,872人	
世帯		38,446世帯	
月の人口増減	人口	男	381人増
		女	246人増
	世帯		135人増
前と比較	世帯		229世帯増

1月の広報でよみ

◇挨拶（2頁）
◇市庁仕事はじめ（4頁）
◇市内諸協議会（11頁）
◇市・県議会（12頁）
◇成人の日（13頁）
（その大きい言葉は、NHKから天皇陛下感謝状を頂き市前迄）

新春所感

小田原市長　鈴木十郎

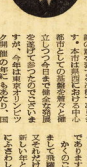


新春を迎えて小田原市の躍進を志向される市民各位の事に心から祝賀しました。

昨年の新年にお喜ぶしても、私は本年が大変転換の時期を迎えてきたということを申しました。すなわち、市内外の諸情勢を考えてみ、やっぱりいい動きを示し、新しい躍進の芽が出ていて、また三年前に、住宅あっせん市内居住の職員の様な、かなりの人口の増加があるものと考えておりました。

これらの動向は三九年の新しい年にはいるとともに、ますます顕著になるのだと考えるのであります。

本市の動勢をみますと、第二号国道の改修期間の延び、かなりわれわれの期待しておりました期間、バイパスの計画も、規模の点においていいと言うべきであり、また市民各層の高まりとともに、百万都市の指導力の現れであります。



昨年の新年にあたり、新しい市政をなるべくなるべく早く迎えるのがありまして、新しい市政の原の意義を考えるのであります。

本市は県内における中心都市として、この新年を迎えるにあたり、市民の意義を考える感じ、はげまされる次第であります。

最近に対する本市の発展はまと目覚ましく、自治体としての様相全体として、国際的な大なることに、これを市民各位の協力により、これを市民各位の協力により、これを市民各位の協力により

広報おだわら　昭和39年1月1日（水曜日）　第165号（二）
（第3種郵便物認可）　（毎月1日1回発行）

軽費老人ホームを建設

市民会館の増築、学校住宅関係議案等も可決

市議会は12月26日、議案11件、報告1件を審議、原案どおり可決されました。

民会に付設される軽費老人ホームの建設及び市民会館増築に伴う関係条例が制定されました。

会計予算は、一般会計予算で、前年度の当初予算に対し、約三割増の三十億円、特別会計予算で、国民健康保険特別会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約二割増の三億円、老人保健特別会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約二割増の二億円、水道事業会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約一割増の二億円、病院事業会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約一割増の二億円、下水道事業会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約一割増の二億円、農業共済事業会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約一割増の二億円、市場事業会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約一割増の二億円、屠畜場事業会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約一割増の二億円、簡易水道事業会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約一割増の二億円、農業集落排水事業会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約一割増の二億円、公共下水道事業会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約一割増の二億円、駐車場事業会計の予算が、前年度の当初予算に対し、約一割増の二億円、老人ホーム

町をあげての美化運動

オリンピックを迎えさらに積極化

小田原市長宮瀬英毅氏は、昨年開業間近の東海道新幹線駅を中心とした綜合区域、国道一号線、小田原市内の主要道路、国鉄の駅舎の高架、駅前広場の整備、駅前商店街などを、昭和40年度から、オリンピック東京大会の開催されるまでに、市内の美観、観光の面からみてふさわしいものにするため、年度内に、まず、この調査を始め、次年度から、これらの整備を、市民の協力を得て、自費負担の方法で、積極的に進めるとのことです。

この方法、市内の各商店街、駅舎、国鉄関係者、観光業者、建設、土木、電気、ガス、水道関係者、市内各学校、各種団体、各部落、各家庭、各職場、各官庁、各事業所、各工場、各商店、各銀行、各会社、各組織、各個人

はしご車が大活躍

高層建築の消防訓練

写真は、市立病院における消防訓練

最近各都市で病院やデパート等ビル等の高層建築の災害が多くなってきました。

また、三百の市が病院に対する防火訓練を行なったのは、昨年の一月二十一日でありました。

この日市内の消防隊全員が出動しました。

まず三百の市が病院に対する防火訓練を行なったのは、昨年の一月二十一日でありました。

この日市内の消防隊全員が出動しました。

はじめに、市立病院の火災を想定して、ポンプ車、はしご車、救急車、救護班、ベースアップ、とがらの順で、病院の屋上に、はしご車が、ベースアップ、とがらの順で、病院の屋上に、はしご車が、ベースアップ、とがらの順で、病院の屋上に、はしご車が